

## 職業能力開発の今後の在り方に関する研究会開催要綱

### 1 趣旨

少子高齢化、労働市場流動化、働き方の多様化等、労働者を取り巻く社会状況、なかんずくその能力開発を巡る環境には大きな変化がみられる。労働者の能力開発は、個人の職業生涯の在り方に影響を与えるのみならず、我が国経済社会全体にも大きく影響する重要課題であることは言うまでもない。このような観点から、厚生労働省においては、個人の主体的な職業能力開発を支援してきているところであるが、更なる能力開発支援の拡充により、機会と可能性に満ちた豊かで活力あふれる日本社会を築くために、労働者の生涯にわたる能力開発の在り方をその具体的な進め方も含めて、現状及び将来へ向けての課題を広く検討するため、職業能力開発局長が招集する研究会を開催する。

### 2 検討のポイント

研究会においては、前記の趣旨を踏まえ、以下のような観点を中心に、幅広く現状の分析と将来課題に関し意見交換するものとする。

- ①労働者とその働き方やキャリアルート、ライフスタイル等にかかわらず能力開発の機会を確保することが必要でないか
- ②個人が主体的にキャリア形成することができる環境を整えることが必要ではないか
- ③企業が労働者に対して行う技能向上、訓練の重要性を再度位置づけ直すことが必要ではないか
- ④労働市場の流動化や成果主義の拡大に対応し、職業能力評価を社会的なインフラとして整備することが必要でないか
- ⑤民間も含め、多様な教育訓練機関を社会的インフラとしてどう活用するか検討すべきではないか
- ⑥これらの課題に対し、行政はどのように対応すべきか。

### 3 検討スケジュール

- ①平成16年6月3日に研究会発足
- ②以降次のような点について意見交換を行う  
能力開発に関する現状と問題点の抽出  
テーマごとの議論  
必要な場合能力開発関係者等からのヒアリング
- ③年度内を目処に報告書のとりまとめ

### 4 参集者 (別紙)

(別紙)

「職業能力開発の今後の在り方に関する研究会」 参集者

- 上西 充子 法政大学キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科助教授
- 北浦 正行 (財) 社会経済生産性本部社会労働部長
- 黒澤 昌子 政策研究大学院大学教授
- 玄田 有史 東京大学社会科学研究所助教授
- 佐藤 博樹 東京大学社会科学研究所教授
- 諏訪 康雄 法政大学大学院政策科学研究科 (政策科学専攻) 教授
- 高橋 俊介 慶応大学大学院政策・メディア研究科教授
- 樋口 美雄 慶応大学商学部教授
- 廣石 忠司 専修大学経営学部教授
- 山川 隆一 慶応大学大学院法務研究科教授

(五十音順)